

# Campus Life

No.183 2024.3



2023ダンロップフェニックストーナメント  
大会史上初のアマチュア優勝  
国際総合政策学科4年 杉浦悠太さん



広島東洋カーブ ドラフト指名（育成1位）  
国際総合政策学科4年 杉田健さん



海外留学～中国北京大学認定留学の様子～



英語スピーチコンテスト（2023年12月16日開催）

## 国際関係学部TOPICS

国際関係学部公式 Instagram。

日本で最初の国際関係学部として、Instagramでしか発信できない  
本学の日常や沢山の魅力を配信しています。

「フォロー&いいね」をお願いします。



NICHIDAIKOKUSAI\_1979



日本大学国際関係学部長

### 渡邊 武一郎

早いもので令和5年度も残すところ僅かとなりました。皆さんはこの1年間をどのように過ごされたでしょうか？

今年度は新型コロナウイルスの鎮静化を受けて、それまでのオンラインでの授業から対面での授業実施へと漸く移行する事ができました。未だ様々なところに新型コロナウイルスの影響は残り

ますが、本来の三島キャンパスの姿を少しずつ取り戻し始めることができたかと思えます。

国際関係学部、そして短期大学部（三島校舎）ともに、国内での学外研修も再開され、多くの学生が教室を飛び出して研修・実習に励みました。また、恒例の海外語学研修も再開されました。2月には日本大学が初めて海外に設置したオーストラリア・ニューカッスルキャンパスでの研修に、日本大学の最初のプログラムとして国際関係学部、短期大学部（三島校舎）の学生を派遣しました。今後も国際関係学部として積極的にニューカッスルキャンパスの活用を進めます。

一方で、ロシアとウクライナの戦争は終結の見通しが見えず、さらにはイスラエルとパレスチナとの紛争等、世界の様々な地域では平和とは程遠い毎日が続いています。日本の周辺でも不安定な要素がいくつもあり、今後私たちの日常は新型コロナウイルス以外でも脅かされる可能性を否定できません。1月には石川県を中心とした能登地方での地震により大きな被害が発生し、2024年は厳しい年明けとなりました。

これまでの価値観が方々で崩壊していく不安定で不確実な時代になりましたが、学生の皆さんには自己を深く見つめて、損得ではなく善悪で物事を判断し、貴重な毎日を過ごして欲しいと思います。

令和6年度の日本そして世界が、明るく希望に満ちたものになると強く信じて、三島から元気を発信していきましょう。

## 令和6年度前学期スケジュール

4/1～4/5  
健康診断・  
ガイダンス期間  
4/3 開講式  
4/9 前学期授業開始

7/16 到達度確認期間  
(14・15週目)  
7/29 前学期授業終了  
7/30・31  
定期試験(諸課程)  
8/1 夏季休暇開始

8/22・23  
追試験

9/19 夏季休暇終了  
9/20 後学期授業開始



## 第73回 富桜祭開催



富桜祭実行委員会委員長  
国際教養学科3年  
鈴木 智恵里 さん

### 第73回 富桜祭報告

本年度、第73回富桜祭を10月28日(土)、29日(日)に对面にて開催しました。

第73回富桜祭のテーマは「FLOWERS~What's your color?~」であり、多くの色で凛と咲く花のように咲き誇ってほしいという意味を込めました。さらに、富桜祭の開催を通して、来場者の皆様や学生一人ひとりが、今の自分に必要なものを見つめ直したり、新たな出会いや発見をしたり、自分だけの“色”を見つけられるような、刺激的な富桜祭を創り上げようと試行錯誤しました。

その結果、芸能人企画や模擬店グランプリ、スタンプラリーや後夜祭ビンゴ大会などの過去の企画を復活させ、見事、コロナ禍以前の盛り上がりを取り戻すことに成功しました。また、ふれあい動物園での乗馬体験、警察音楽隊、自衛隊の車両展示、お寺めぐりの会やしゃぎり演奏も、幅広い年齢層のお客様に楽しんでいただけたのではないかと思います。さらには、富桜祭実行委員会OBの方からお声かけいただき、JICAとのコラボ企画を実施し、国際関係学部の色をアピールすることもできました。私自身、企画を練る際に多くのご縁を感じ、この富桜祭は地元の方々やOBの皆様を支えられているのだと改めて実感しました。

このように新たな刺激を加え、第73回富桜祭は来場者約5,000人を迎えることができました。また、富桜祭実行委員会の絆も、運営していく上で深まっていったと感じます。大学生という子供と大人の狭間ではありますが、それでもこのようなコミュニティに属し、ひとつのことに向け皆で協力し実行していくということには大きな意味があり、とても貴重な体験でした。私はこのメンバーで富桜祭を成功させたことを誇りに思います。

至らない点多々ありましたが、それでも最後まで支えてくださった教職員の方々、外部関係者の方々、そして実行委員会の仲間たちに心から感謝申し上げます。今後とも、日本大学国際関係学部の富桜祭をよろしく願いたします。



学生生活委員会委員長  
国際総合政策学科  
鄭 勳燮 教授

### 学生生活委員長から

2023年10月28日(土)と29日(日)の二日間、国際関係学部及び短期大学部(三島校舎)では第73回富桜祭(学部祭)が開催されました。二日間の来場者数は5,282人となり、昨年度より多くの方々にキャンパスへお越しいただきました。

今年度の富桜祭は、学部祭のメインとも言える模擬店の出店をはじめ、サークル等学生団体によるステージイベント及び館内展示、様々なゼミナールによる研究発表及び活動の紹介等、学内の多くの団体が参加しました。また、ふれあい動物園や静岡県警察音楽隊、自衛隊車両展示、三島の伝統芸能「しゃぎり」演舞、キッチンカーの出店など、たくさんの学外の方々にもご参加いただきました。特にステージイベントでは、芸能企画を復活させ、「芸人によるお笑いライブ」と「格闘家によるトークショー」を開催し、会場内は大いに盛り上がりました。ご来場いただいた皆様には、きっと素敵な思い出となったのではないのでしょうか。

来年度の富桜祭は2024年10月26日(土)と27日(日)に実施の予定です。保護者の皆様方におかれましては、今後とも富桜祭へのご声援、ご協力を賜りますよう、宜しく申し上げます。



開会式



模擬店ストリート



災害救助犬の活動紹介



静岡県警察音楽隊

## 国際関係学部・学科だより

### 国際総合政策学科 JAXA筑波宇宙センターへの学外研修

#### 国際総合政策学科 准教授 永井雄一郎

2023年12月16日(土)、国際総合政策学科の学外研修としてJAXA筑波宇宙センターを訪問しました。三島キャンパスからバスで片道3時間となる遠方への研修でしたが、多くの学生から参加申し込みがあり、当日は1年生から4年生まで23名の学生が参加しました。

今回の研修では、まずJAXA筑波宇宙センターの施設見学ツアーに参加し、宇宙飛行士養成のための施設や国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟の運用管制室などを見学しました。続いて、展示館「スペースドーム」に移動し、これ

までJAXAが開発してきた人工衛星や宇宙探査機の試験モデルなどを見学しました。また同センターには、H-IIロケットの実機も展示されており、その迫力を間近に感じることができました。

普段なかなか目にすることができない実際のロケットや人工衛星を見学しながら、日本の宇宙活動について理解を深める大変貴重な機会となりました。参加した学生たちも、宇宙という場所を少し身近に感じることができたのではないのでしょうか。



研修先となったJAXA筑波宇宙センター H-IIロケットとともに



宇宙飛行士が閉鎖環境適応訓練に使用する施設を見学

## 国際関係学部・学科だより

### 国際教養学科 ゼミナール紹介

#### 国際教養学科 教授 松本 佐保

松本佐保ゼミは少人数で主に宗教と国際政治に関わる書籍を輪読し、疑問点についてどんどん議論します。

2022年に勃発したロシアとウクライナの戦争の宗教的背景の理解のため、下斗米伸夫著『宗教・地政学から読むロシア「第三のローマ」をめざすプーチン』を講読しました。内容はロシア正教会と政治の関係の歴史で、少人数のため一人の担当頁数が多かったですが、350頁を読破しました。また藤原聖子著『宗教と過激思想—現代の信仰と社会に何が起きているか—』を講読、本書はイスラム、キリスト教、仏教、ユダヤ教、ヒンドゥー教、神道などの、過激とされた宗教思想を解説した内容です。サイド・クトゥブ、マルコムX、ジョン・ブラウン、井上日召、マイル・カハネらの思想を分析し、宗教の過激主義とは何かを議論しました。2023年10月7日にハマスによるイスラエル攻撃を発端に両者の間に戦争が勃発し、イスラムの過激主義や、ユダヤの過激主義を唱えたマイル・カハネについて知ること、現在の両者による激しい戦闘の背景を学びました。



ゼミナールでの講義風景



## 短期大学部・学科だより

### ビジネス教養学科活動報告

#### ビジネス教養学科 准教授 川戸 秀昭

短期大学部ビジネス教養学科では4年制大学への編入学を目指す学生が約7割、就職を目指す学生が3割おり、それぞれの目標を達成するために少人数制できめ細やかな指導を行っております。学びの内容は経済学、商学、観光、経営と多岐に渡り、2年間でより専門的に学びたい分野を見つけることができます。さらに学業だけでなく、これから社会人になるに当たっての人間関係の構築や幅広い知識の習得などについても課外活動や学術講演会を通じて学んでおります。1年次には課外活動として三島市の主要観光スポットを訪れ、地域の歴史や文化を学ぶ機会を設けています。長期休暇期間には海外研修やフィールドワークなどを行うことを推奨し、国際関係学部との語学研修に参加する学生もおります。また、様々な資格取得に関しても学科としてサポートを行っており、多くの学生がファイナンシャルプランナーや簿記検定などに積極的にチャレンジし合格をしています。



夏期基礎ゼミナール欧州研修



三島フィールドワーク

## 短期大学部・学科だより

### 食物栄養学科「卒業研究」と専攻科「特別研究」の紹介

#### 食物栄養学科 教授 太田 尚子

短期大学部食物栄養学科は、専攻科食物栄養専攻を積み上げ式に持っています。

そこで最長3年間自分自身の興味を深く掘り下げて積極的に研究できる特色ある学科です。

ここではその流れを一般的な4年制大学の場合と比較しつつ簡単にご紹介したいと思います。私自身は他大学の4年制大学の家政学部食物栄養学科に在籍していましたが、4年生になる直前に研究室の配属がありました。私はリン脂質の食品学的機能特性に関する研究室に入室しました。そこで1年

間「卒業論文」に取り組みました。

一方、本学では短期大学部の2年生の初めに所属する研究室が決まります。これは選択科目ですが、その後専攻科に進学しますと2年間「特別研究」に取り組みます。

研究には様々な分野がありますが、安易な研究というものはなく、どれも試行錯誤に時間がかかります。トータル3年間自分自身の興味を持てる内容で積極的に研究に取り組む幸せを皆さんに体感していただきたいと切に思います。



実験実習の様子（太田尚子ゼミナール）

## 学生の皆さんも保護者の皆さんも

# 大学生生活の大きな関心事は将来のキャリア(就職)

このコーナーでは、大学4年生、短大2年生で全国の様々な分野への内定を勝ち取った方の手記をお知らせします。就職活動時に「日本大学」は武器となります。しかし、大切なのは学生本人の夢（キャリアビジョン）や就活時の努力です。是非ご参考ください。

国際関係学部  
国際総合政策学科4年

中村 涼一さん  
内定先：日本銀行

ゼミナールと就職指導課の活用が有効



国際関係学部の魅力はリベラルアーツの学びができることです。言語や経済、旅行関係など、興味のあることを幅広く学ぶことができ、その分野に詳しい先生から、深い学びを受けることができます。私は金融業界に興味があり、武田ゼミナールで金融学を学びました。バーチャル資産運用や地域金融機関をテーマに研究し、自分で調べて考えるプロセスがいかに重要かを学びました。「マーケティング論」の講義では、戦略的な物事の考え方から価値を創造することに興味を持ちました。私が就職先を決めた理由は、金融はどの業界とも接点があり、未来に向けて人の役に立つことができるという公益性の高さです。就職活動では就職指導課のエントリーシート添削を活用することで、自分が大切にしていることや信念が明確になり、自己分析を深めることができました。これからも大学で学んだことを生かし、人や社会のために貢献していきたいと思っています。

国際関係学部  
国際総合政策学科4年

山崎 暖和さん  
内定先：ANA エアポートサービス株式会社

語学力と社会を生き抜く力を身につけた



在学中に最も注力したのは、英会話のスキルアップです。1、2年次がコロナ禍で時間に余裕があり、単語や文法を一から学び直し、基礎を固めました。オンライン講義では、先生や学生と1対1で英会話できる機会を多く設けていただいたため、英会話が格段に上達し、TOEIC®の合格につながりました。それは、ANAエアポートサービスのグランドスタッフを目指していた私にとって大きな自信となり、内定に結びついたと感じています。本学部は、グローバルな知識はもちろん、社会に出た時に必要となる接遇や現代社会を生き抜く力までも学ぶことができます。「日本社会」の講義で服部先生が教えてくださった、「『愛・和合・協調性』の3つが揃っていれば、社会でうまくやっていける」という言葉を支えに、新しいホスピタリティの価値を創造できる人材に成長したい。そして、ゆくゆくは世界の空港で通用するグランドスタッフになりたいです。

国際関係学部  
国際教養学科4年

池田 光晴さん  
内定先：横浜市教育委員会

学部環境や強みを活かして夢を実現



内向的だった私を変えてくれた小学校の先生に憧れて、教員を目指しました。大学4年間は教員採用試験の学習に励み、充実した日々を送ることができました。特に4年次は、教育実習や教員採用試験対策、通常講義、通信制大学のレポート提出など、時間に追われて心が折れそうな時もありましたが、同じ道を志す仲間が存在が大きな支えになりました。在学中に意識していたことは「学習」と「経験」です。学んだことを実体験で根付かせることを、繰り返しました。特に3年次に受講した「教育実践体験研究」では、教育実践に関する知識や技能の理解度が飛躍的に向上し、教員採用試験での私のアピールポイントになりました。大学の周囲には学校が多く、ボランティアやインターンシップ、体験実践などに参加しやすいことも魅力です。この春、念願の教員人生が始まります。憧れの先生に一步でも近づけるよう、子どもの成長を大事にする授業づくりに励んでいきます。

国際関係学部  
国際教養学科4年

菅野 綾音さん  
内定先：株式会社 帝国ホテル

ゼミナール活動での経験が自身の強みとなる



私は矢嶋ゼミナールの副ゼミ長として、活動の管理と運営に注力しました。産学連携プロジェクトでは、様々な立場の方と連携を取り、意見交換を通じて成果と満足度を高めました。この経験で、協働することの大変さとやりがいを感じました。また、富桜祭の実行委員では、イレギュラーが発生する場面もあり対応に追われながらも、決まった枠組みの中で価値を創り出すことが好きだと気付きました。ホテルに就職したいと思ったのは、そのようなスキルや志向が生かせると思ったからです。就職活動中には、自分を簡潔に伝えることに苦労しましたが、自身の経験と学びを見返すことで、自分の強みを再認識することができました。就職先での展望は、「人と創る」という自分の好きをブラッシュアップし会社の経営と社内環境に貢献することです。大学生活で培った調整役としての能力を、会社でも発揮したいと思っています。

短期大学部  
ビジネス教養学科 2年

望月優希菜 さん

内定先：明電舎

社会での実践を意識し行動した2年間

本学科はビジネスに関する幅広い分野の知識や社会ですぐに実践できるビジネスマナーを身につけることができるため、具体的な進路が決まっていなかった私にとって最適な環境でした。在学中は2年間で有意義に過ごすため、日商簿記検定やファイナンシャルプランナーの資格取得、業界研究などを積極的に行いました。

将来は、簿記や金融など執務職に関する知識を増やし、仕事もプライベートも充実させたいです。



短期大学部  
食物栄養学科 2年

堀井 亜純 さん

内定先：日清医療食品

ゼミナール活動の経験が進路につながる

私は2年次7月頃から就職活動をスタートしました。この学科に入り食について学んでいくうちに、栄養士として多くの方の食生活を支えることのできる、給食委託会社での仕事に興味を持ちました。就職活動をするに当たり、どんな点を一番に重要視していきたいのか、考えがまとまらず悩んでいた時に、学内の先生方や就職指導課の方々から多くのアドバイスをいただき、背中を押していただきました。

学生でしかできない活動をしたと所属したゼミでは、地元である静岡県内での就職を考えていたこともあり、それにつながるような三島市の健康推進に寄与する献立を作成する機会をいただけたのが良い経験になりました。

今後は内定をいただきました、日清医療食品で実務経験を積みながら、管理栄養士資格の取得を目指して、勉強を続けていきたいと考えています。

短大での2年間は本当にあつという間です。今しかできないことにたくさん挑戦して充実した学生生活を送ってほしいと思います。



## 就職指導支援!! キャリアサポート利用のすすめ

西澤 彰浩 さん (国際関係学部 国際教養学科 4年)

就職指導課を活用して、早期に内定を獲得!

3年次の8月から就職活動を始めたものの、不安が募り、自分一人で進めるには限界を感じました。12月から就職指導課を利用し始め、セミナーの受講や、職員の方から様々なアドバイスをいただき、目に見えて改善が見られ自信につながりました。特に印象に残っているセミナーは、「1日で体験! 選考体験講座」です。オンラインでしたが、グループディスカッションやプレゼンテーション、複数回にわたる面接など本番さながらの環境で1日みっちり練習ができ、的確なフィードバックをもらうことで自分を客観的に見つめることができました。就職指導課の方には、エントリーシートの添削、面接時の服装や姿勢、マナーについても丁寧に教えていただきました。早めにプロの手を借りて進めたおかげで、早期内定につながりました。





## 保健室・学生支援室より

### 障がい学生支援について

「障害を理由とする差別」をなくすために平成28(2016)年4月より「障害を理由とする差別解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行されました。この法律では「不当な差別的取り扱い」及び「合理的配慮の提供」の2つを定めており、国などの行政機関や国公立大学は法定義務、私立大学などを含む民間事業者は努力義務とされていましたが、法改正に伴い令和6(2024)年4月1日から私立大学を含む民間事業者も法定義務となります。

日本大学ではこの流れに伴い、平成31(2019)年に日本大学障がい学生支援に関する基本方針と日本大学障がい学生支援ガイドラインを制定し、学生支援室が窓口となり、障がいのある学生に対して支援(合理的配慮)を行っています。

大学での合理的配慮とは障がいのある学生が教育を受ける権利を行使できるよう必要な環境調整を行うことです。例えば、聴覚に障がいのある学生に文字認識アプリ等を使用し、耳からの情報だけでなく文字など視覚からの情報を補うことで他の学生と同じように授業を受けることができるようになります。他にも本学部で行われている支援のほんの一例として、担当教職員への配慮事項等の伝達・座席の配慮・別室受験などがあり、障がいの種類や程度、授業や研究の目的・内容に応じて提供できる内容は一人ひとり異なります。

ただし、合理的配慮は単位修得等の結果を保証するものではありません。講義の到達目標(本質的事項)に対して変更及び調整を求める内容、他の学生との公平性が損なわれる内容、大学側が過度な負担となる内容など配慮として認められない場合もあります。学生との建設的な対話を通して配慮内容を考えていきます。

申し込みや相談は学生支援室のコーディネーターが受け付けています。支援を希望される場合は本人からの申し出と医師の診断書等の根拠資料が必要になります。手続きの流れや必要書類等詳細はホームページをご確認ください。

ご家族からの相談も受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。

また、学生支援室では障がい学生支援だけでなく、学生の悩みや学生生活での困りごとの相談を受け付けています。コーディネーターの他にもカウンセラーや精神科医(月2回来校)もいますので、気軽に相談してください。



障がい学生支援



学生支援室

### 【健康相談について】

保健室・学生支援室では、学生の皆さんが充実したキャンパスライフを送れるようにサポートを行っています。生活様式や取り巻く環境の変化により、眠れない、疲れが取れない、食欲がない、ストレスや不安を感じるなどの気になる症状や心配なことが続く場合は、一人で悩まずにいつでも相談してください。※学生に関する保護者からの相談も受け付けています。



予約制

からだの健康に関する相談

【学校医】毎月第1、3水曜日  
15:00～16:00

予約制

臨床心理士によるカウンセリング

火～金曜日  
10:30～16:00

予約制

こころの健康に関する相談

【精神科医】毎月2回

※日程等の詳細についてはLiveCampusUの「学内連絡(学生課)」を確認してください。

お問合せ

【保健室】本校舎12号館1階 電話:055-980-0851  
三島駅北口校舎 電話:055-980-1925

【学生支援室】本校舎12号館1階(保健室隣)  
電話:055-980-0850

## 三島キャンパス 告知板

### 【保護者配信メール(さくら連絡網) 未登録者の皆様へ】

本学部では、さくら連絡網にご登録済みの保護者の皆様へ原則毎月一度、大学から情報を発信しております。ご登録いただきますとLINE等で情報を受け取ることが可能となります。未登録で新規登録をご希望の場合は、庶務課(電話 055-980-0801)へお問い合わせください。

### ▶ 配信内容例

「台風接近による荒天が予想されるので、  
令和〇年〇月〇日の講義は休講します。」  
「令和〇年〇月〇日に成績発送を行いますので、  
ご確認をお願いします。」  
「〇〇ガイダンスが  
令和〇年〇月〇日に実施されます。」